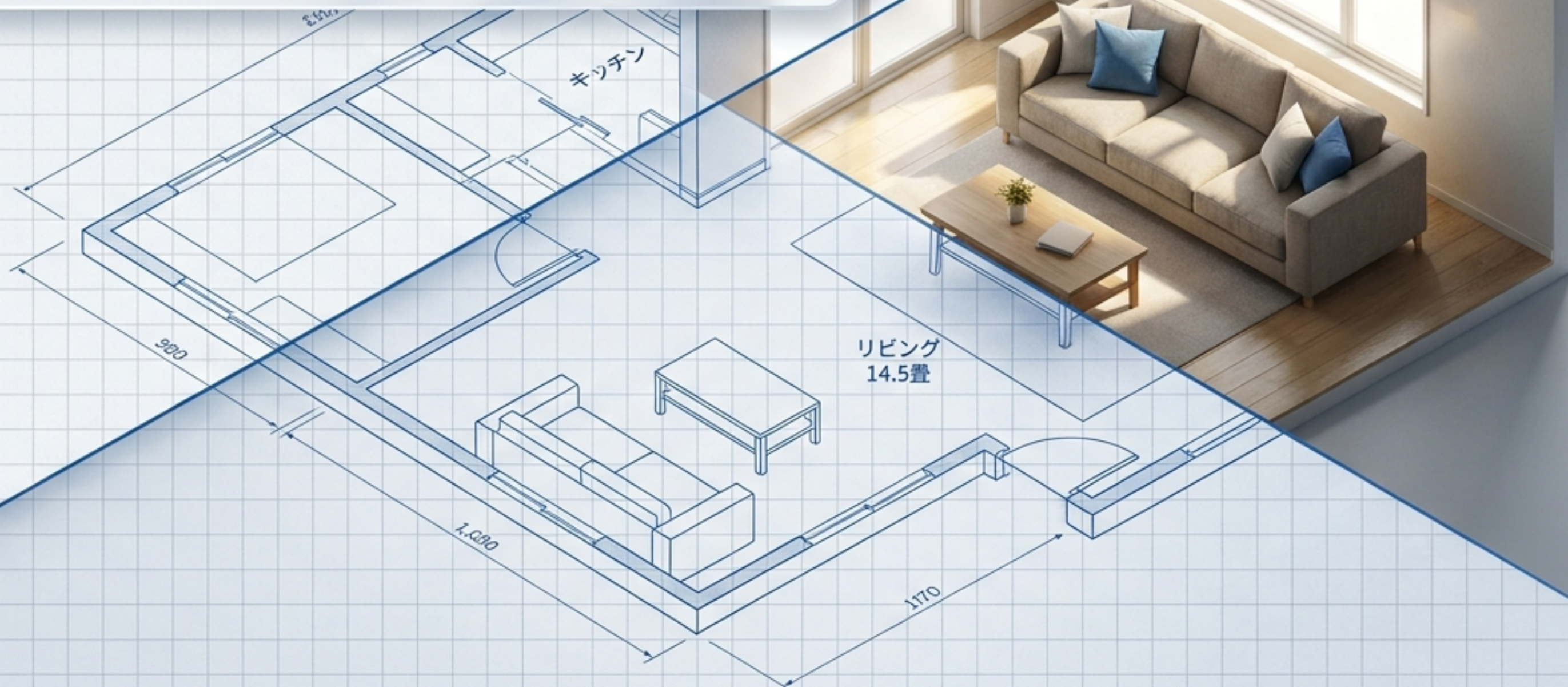


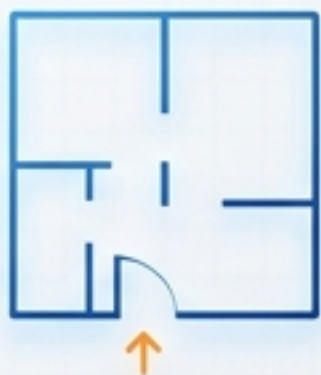
「ドリームプラン」マスターガイド： 直感的操作で描く、理想の3D空間設計

ユーザーの頭の中にある理想の空間を、スピーディーに現実（3D）にする空間設計のビジュアル・プレイブック



1

Panel 1



1. 空間を描く

部屋・壁の作成と基礎
設定

2

Panel 2



2. 暮らしを配置する

建具・家具・設備の
レイアウト

3

Panel 3



3. AIで加速する

図面読み取り・テキストか
らの間取り生成

4

Panel 4



4. 3Dで体感する

視点設定と空間の
ウォークスルー

入力要素 編集 表示 データ 出力 設定 天井高 壁厚 全消去

選択モード

入力モード

移動

戻る

読み込み

保存

コピーして保存

新規作成

素材・機能パネル

家具 水回り キッチン 収納

電気設備 外構 AI 3D屋圧

ソファ
1456×728 mm 1820×910 mm 2184×1092 mm

ベッド
1092×1820 mm 1365×2275 mm 1638×2730 mm

テーブル
1092×1092 mm 1365×1365 mm 1638×1838 mm

椅子
540×546 mm 682×683 mm 819×919 mm

本棚
546×1456 mm 683×1826 mm 819×2184 mm

デスク
1092×728 mm 1365×910 mm 1638×1092 mm

素材・機能パネル

配置する素材カテゴリ (家具・設備など) や、選択中のオブジェクトの詳細設定がここに可変表示されます。

メニュー&モード

「選択モード」と「入力モード」の切り替えがすべての基本。

寝室

階層・表示

1階・2階の切り替え、下層の透かし表示、そして完成形を見るための重要な「3Dパース」ボタンを配置。

選択モード: 部屋の辺をドラッグで変形・角をドラッグで移動 / 空白をドラッグで画面移動 / 家具・設備は本体、建具は枠や開口部をつかんで移動 / 面なりは左クリックで切替 / Shift+ドラッグで範囲選択 / 右ボタンを押しながら左クリックで全体表示 / 部屋の▼は正面

報告

階 1階 2階 隔高 中隔を追加 隔を追加 隔の削除

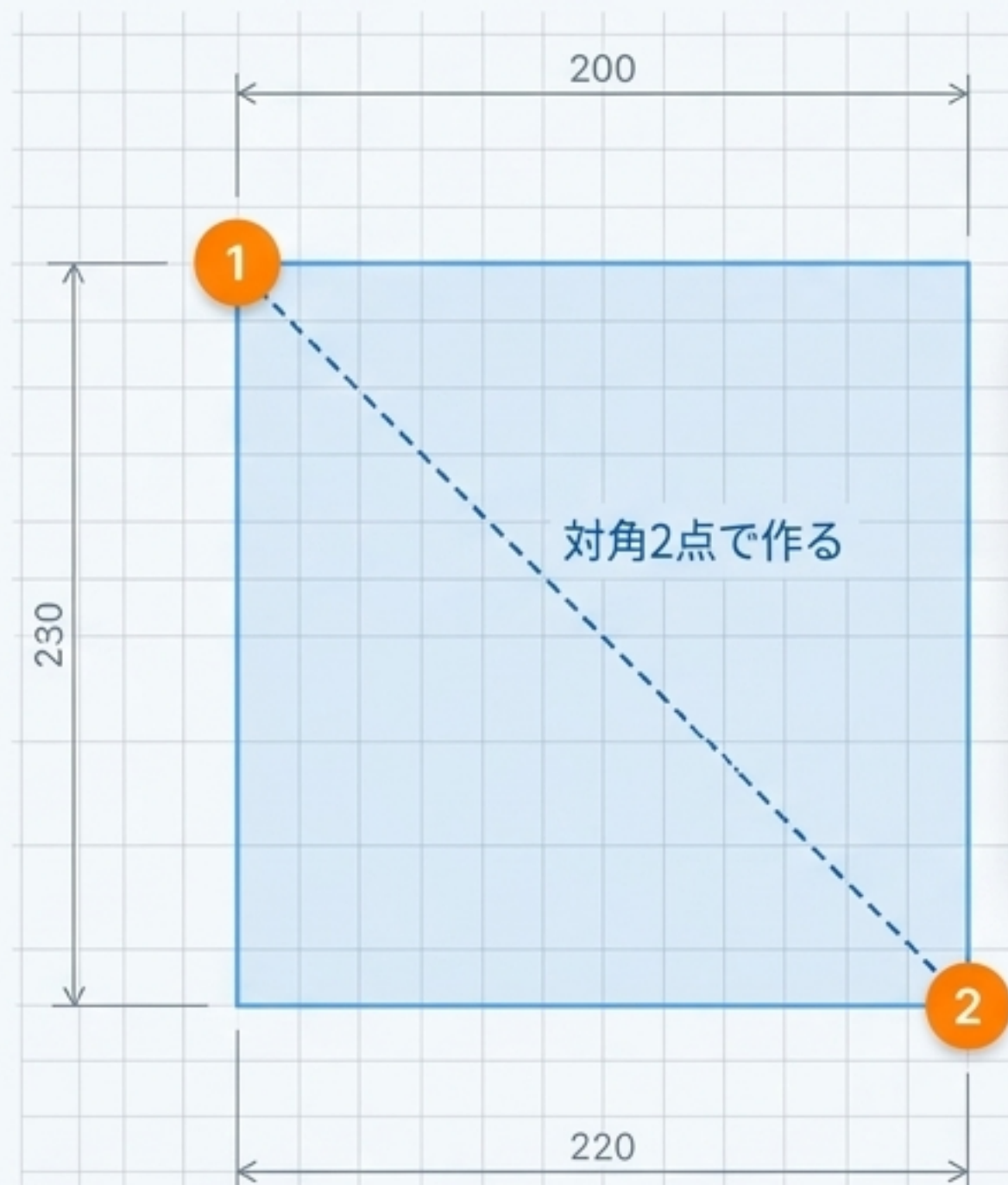
下層表示

上層表示

3Dパース

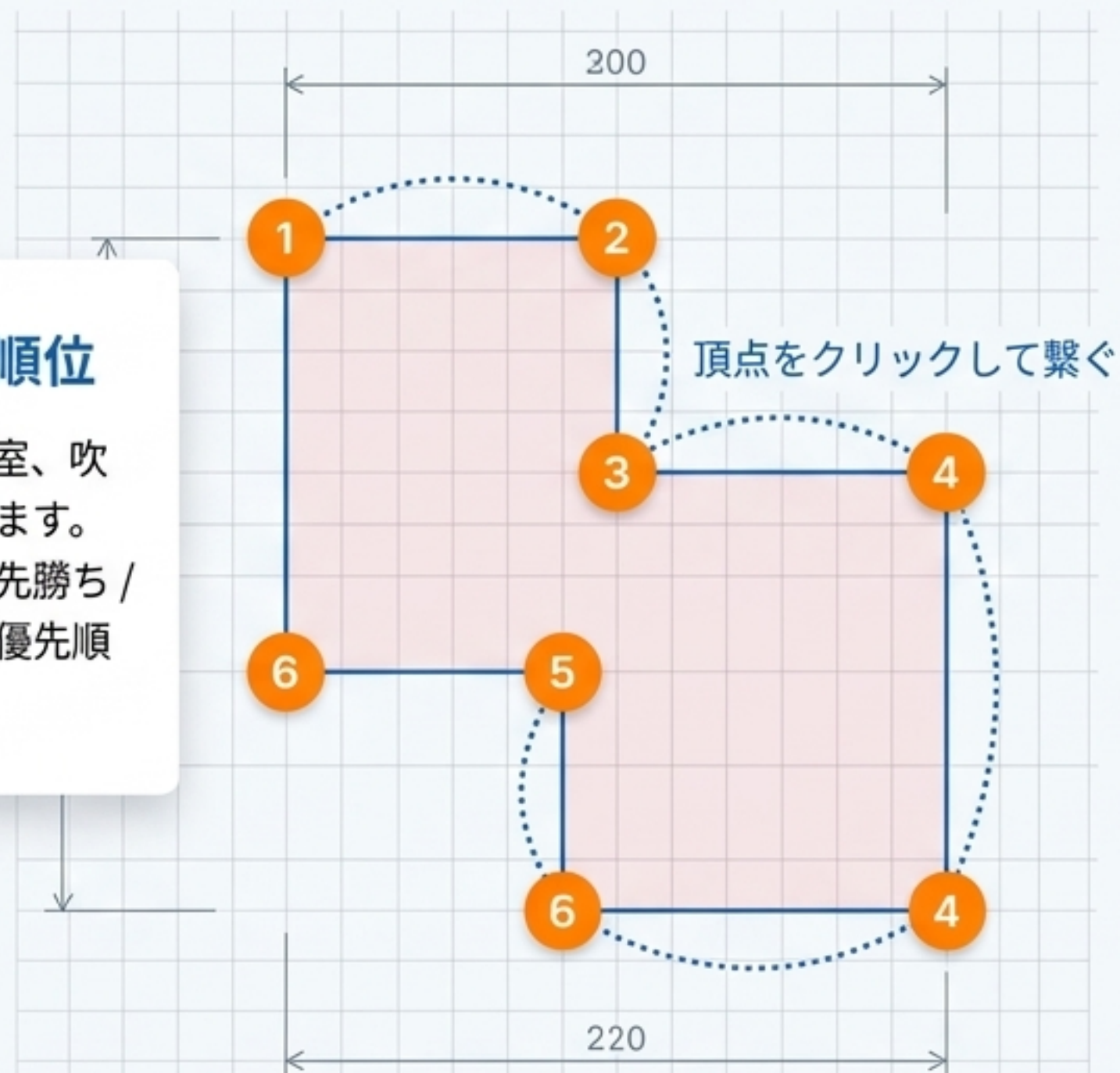
標準：四角形の部屋

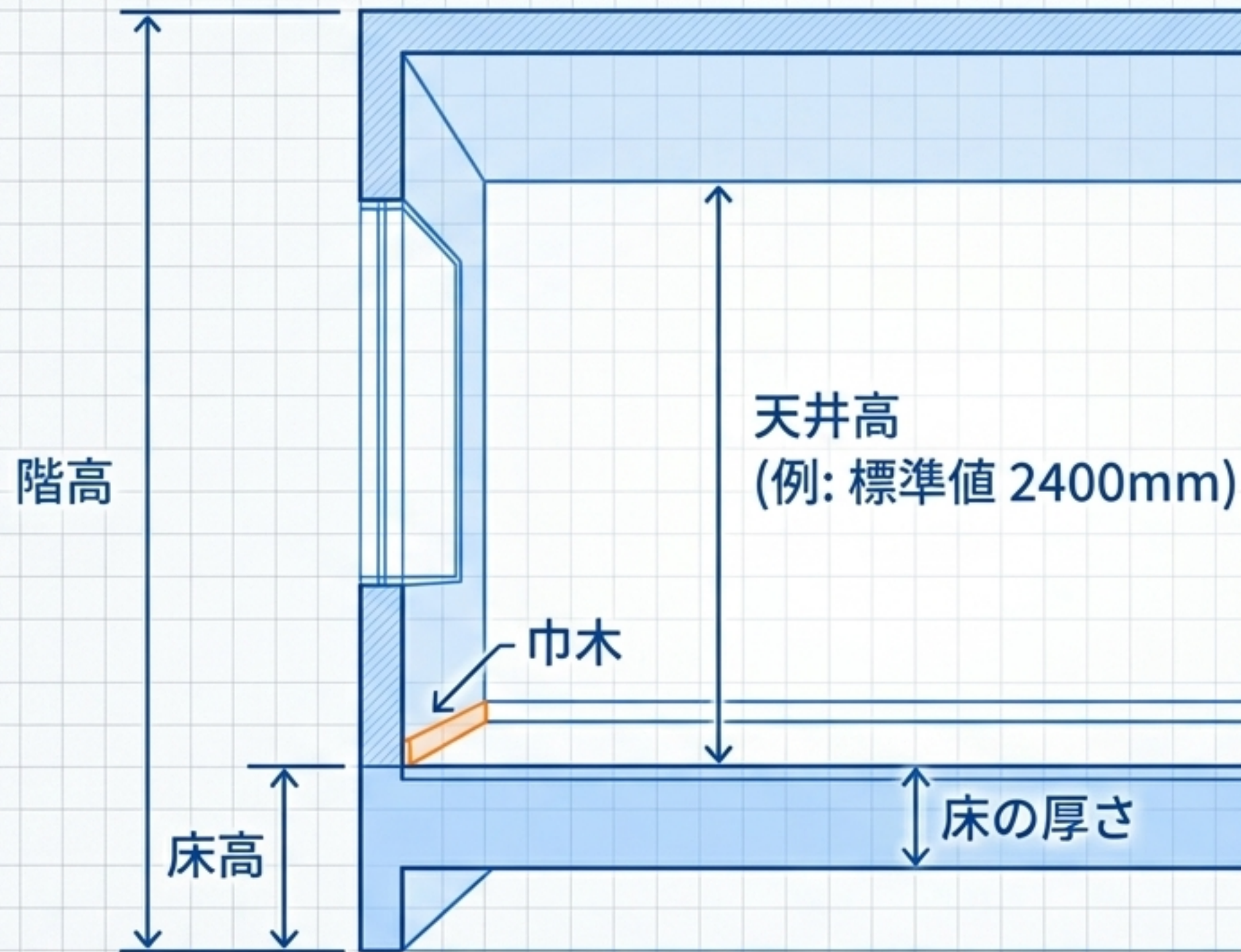
応用：多角形の部屋



部屋タイプと優先順位

作図後に用途（LDK、寝室、吹き抜けなど）を割り当てます。重なる部屋を描く際は「先勝ち / 後勝ち」設定で境界線の優先順位を制御できます。





プロパティ ルーム

部屋特性

名前 部屋

体積 2.56

畳積床面積 2400mm

天井設定

天井高 2400mm

天井高変動幅 2400mm

予約巾幅 (mm) 208

☐ 天井高を自動で調整

部屋設定 +

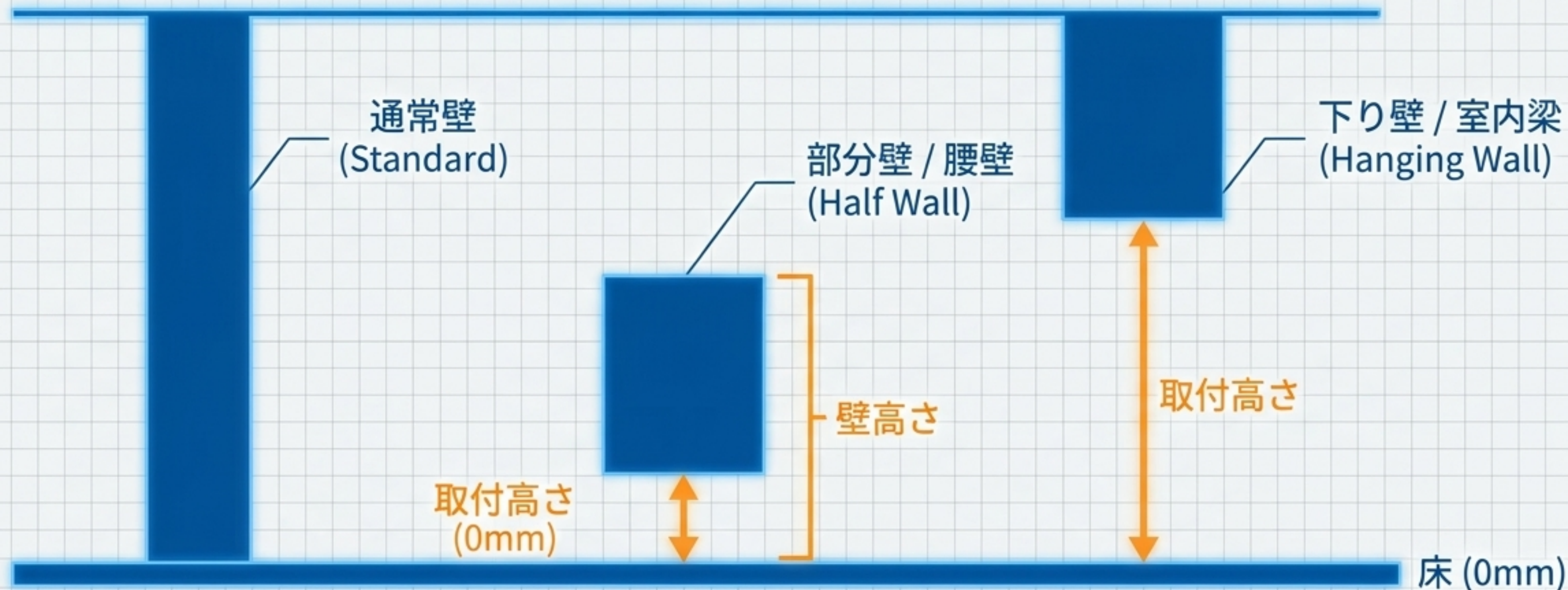
プロパティ +

Pro-Tip

ミリ単位の精密チューニング

2D平面上で部屋の青い頂点を選択し、「辺長を反映」機能を使うことで、実寸 (mm) を直接入力して微調整が可能です。

構造壁の種類と取付高さ



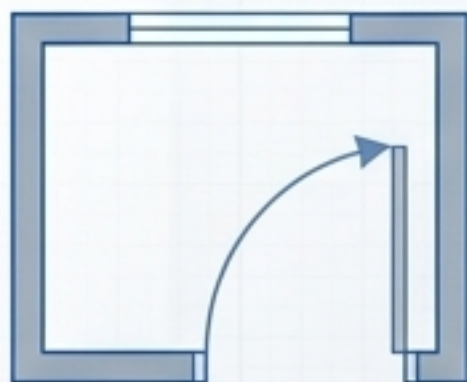
【Z軸を制する法則】

取付高さ＝所属階の床から下端までの距離。※独立配置では部屋を分割しません。

扉 (Doors)

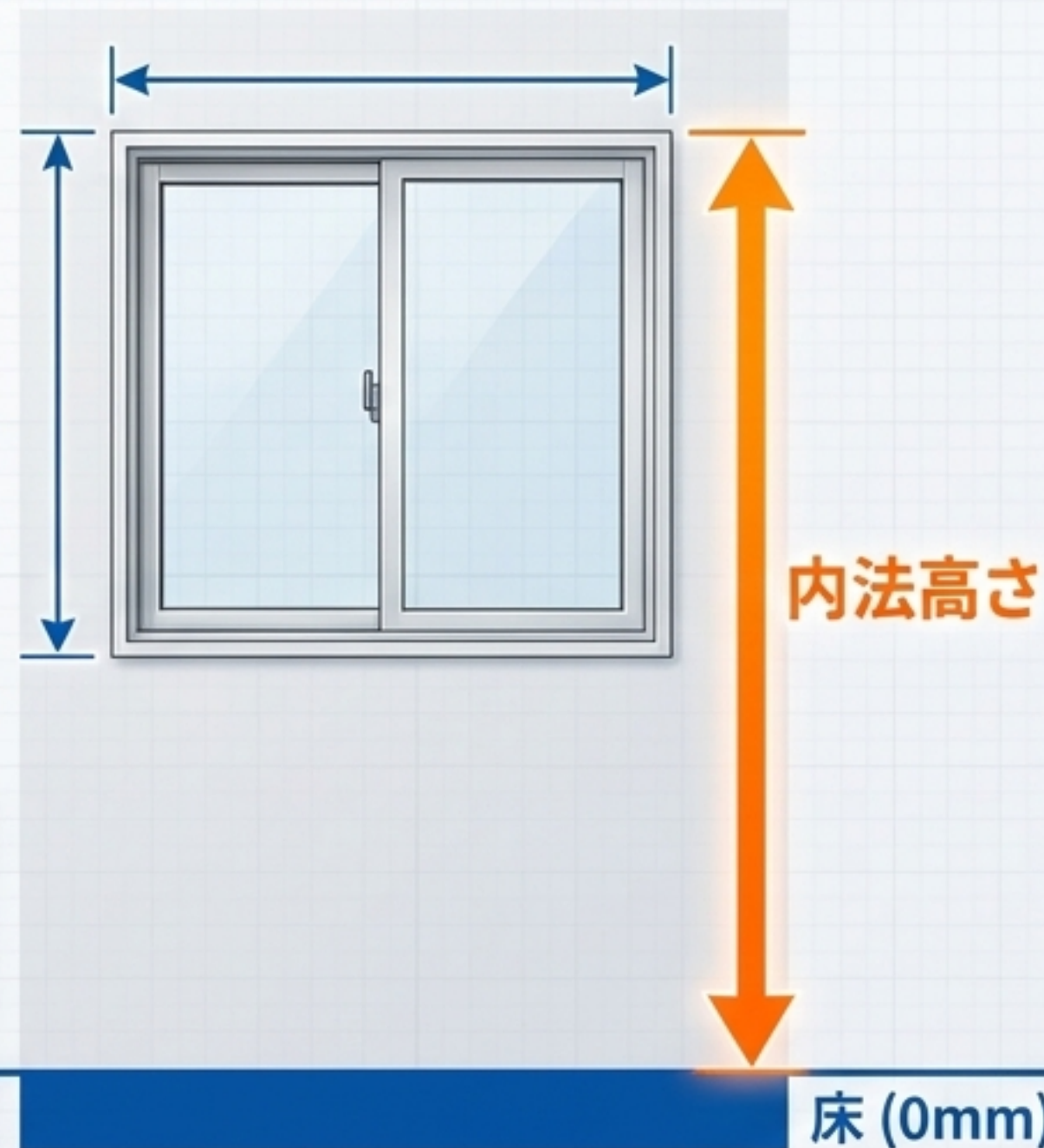


※床に自動接地するため、
内法高さ＝開口高となります。



開き方向と吊り元の変更が可能。
3D表示中は「Ctrl+クリック」で
建具の開閉操作を行えます。

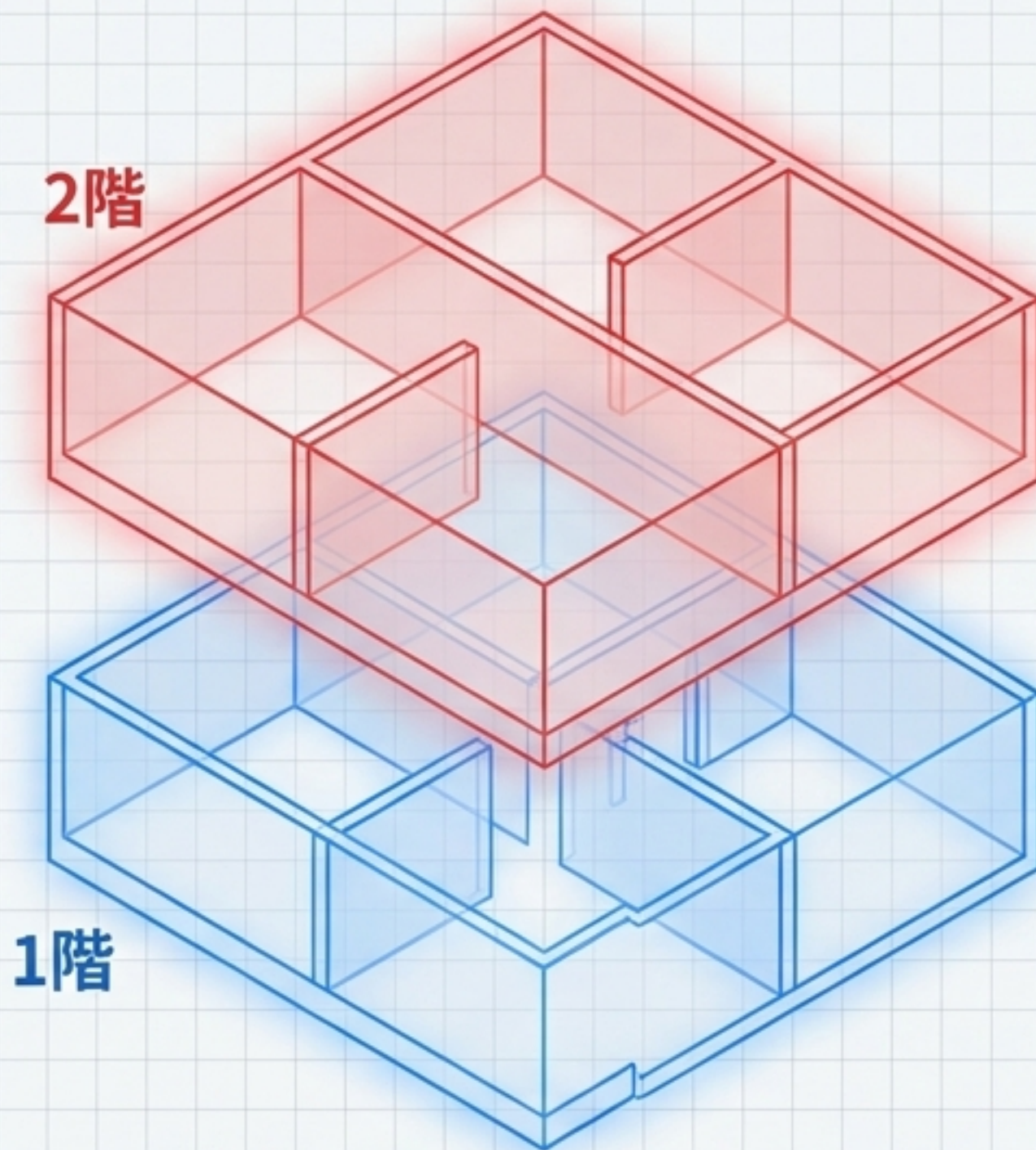
窓 (Windows)



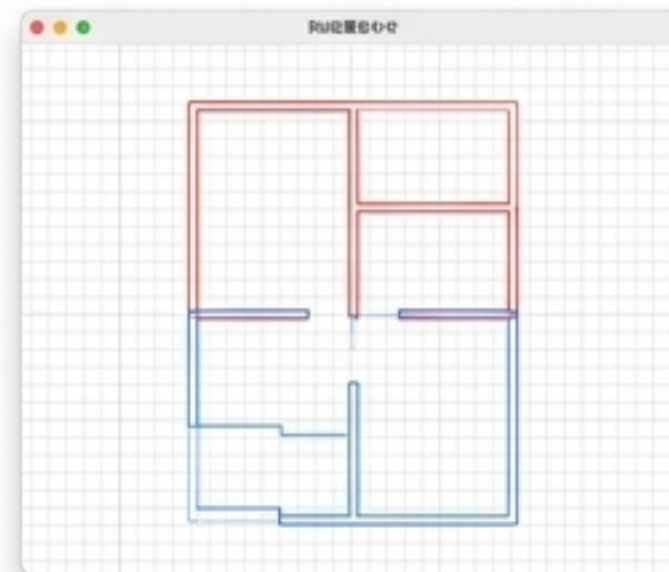
※窓が壁のどの高さに配置されるかを
決定する極めて重要な数値です。

階段の描き方

- 1 幅指定 (2点)
- 2 進行方向をクリック
- 3 ダブルクリックで確定



階の位置合わせ (Multi-Floor Alignment)



1階の青線と2階の赤線が重なる画面で、共通の壁や柱が一致するようにドラッグして建物の縦軸を揃えます。

※スキップフロアには「中階」機能を使用します。

素材・機能パネル



家具



水回り



キッチン



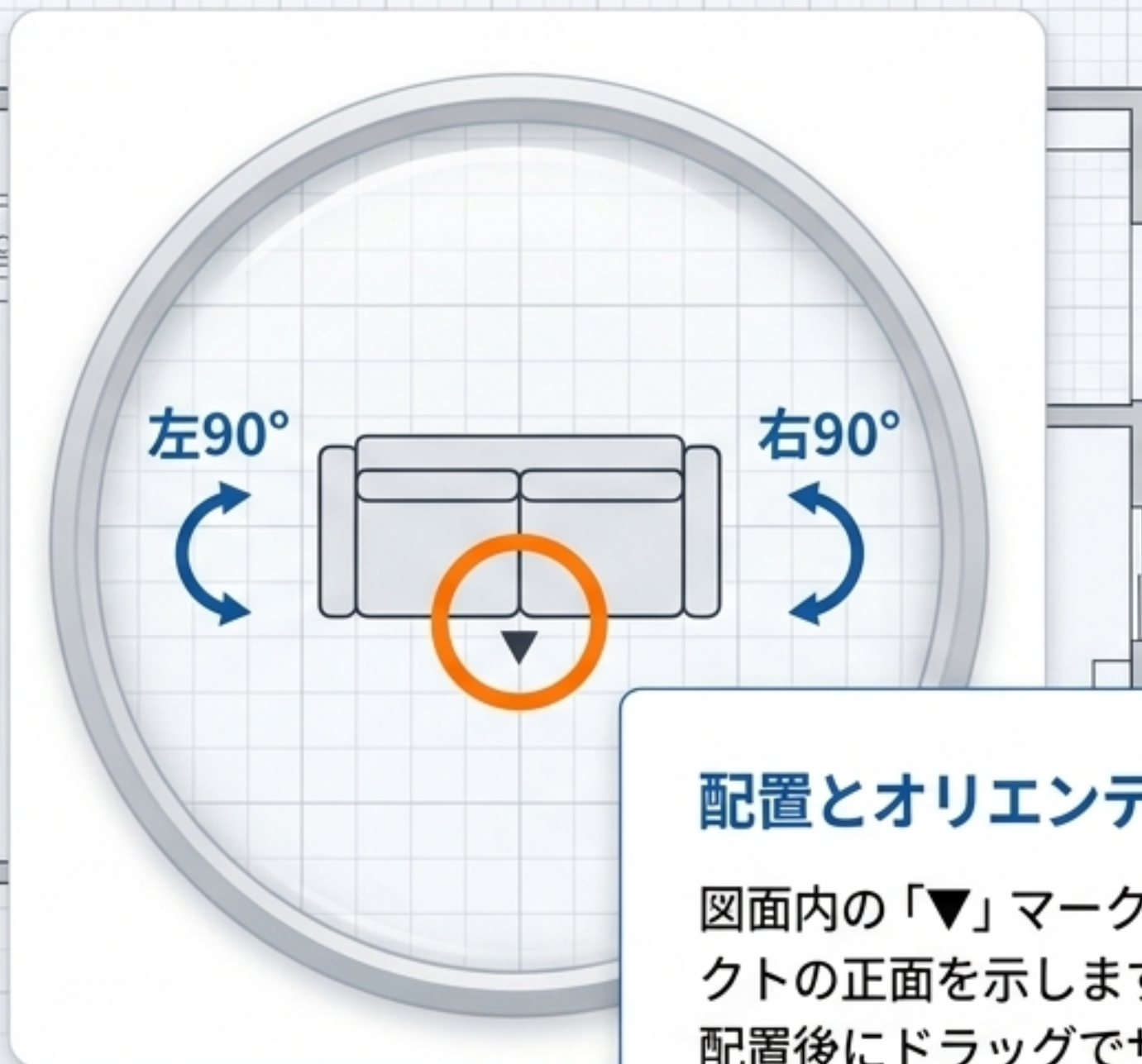
収納



電気設備



外構



配置とオリエンテーション

図面内の「▼」マークはオブジェクトの正面を示します。
配置後にドラッグでサイズ調整、
回転ボタンで精密な向きを制御
を行います。

1グリッド実寸

作図のベースとなる方眼1マスの実寸サイズ（例：455mm）と、マウスのキャッチ基準（吸着度）を定義します。

水切り高さ

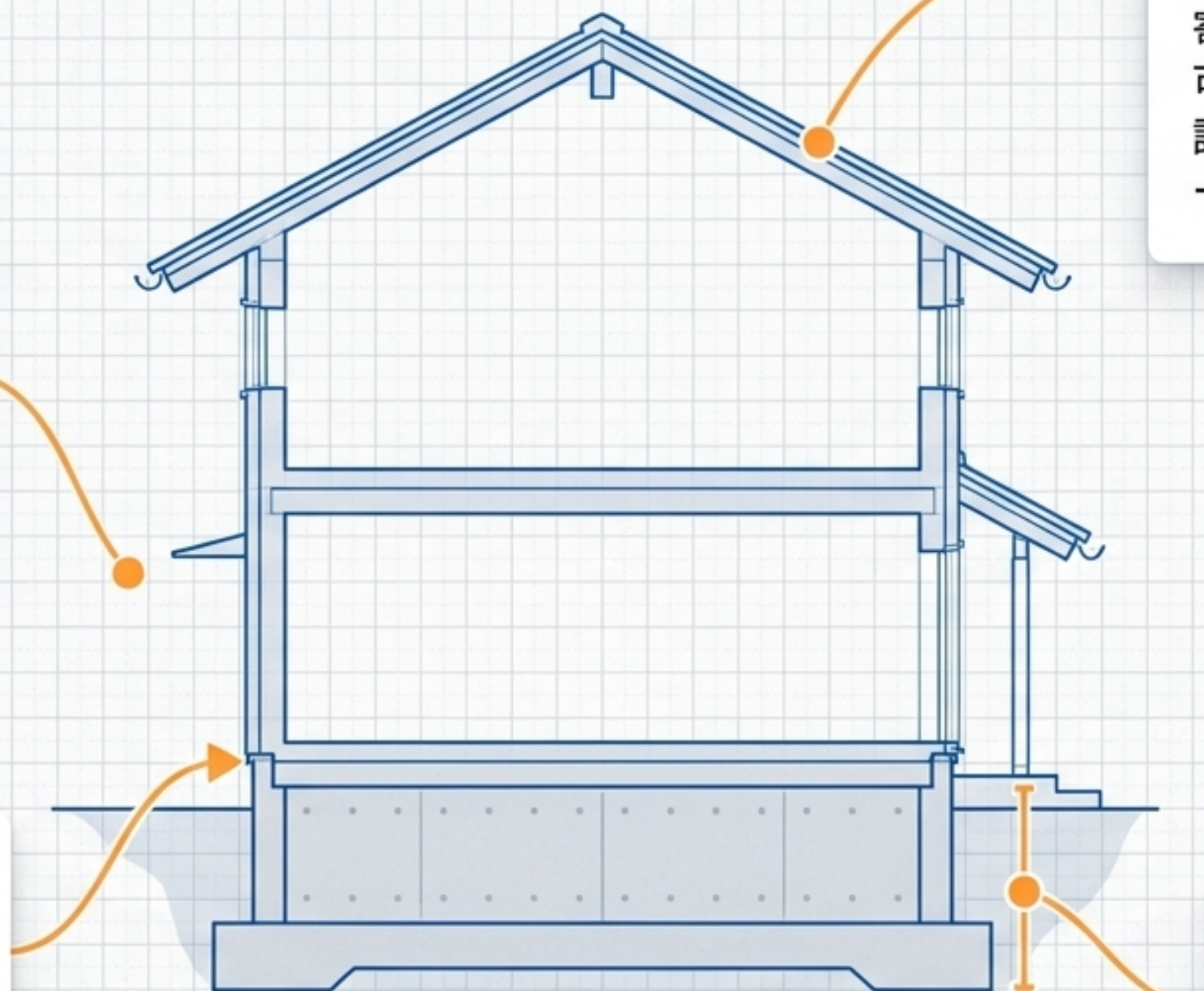
外壁と基礎の間を区切る水切り（例：20mm）の設定。

屋根の設定

寄棟、切妻、片流れ、陸屋根から選択可能。軒の出（例：450mm）も一括設定。「屋根を1枚入力」で手動のオーバーライドも可能です。

基礎高さ

建物を支える基礎部分の高さ（例：400mm）の指定。

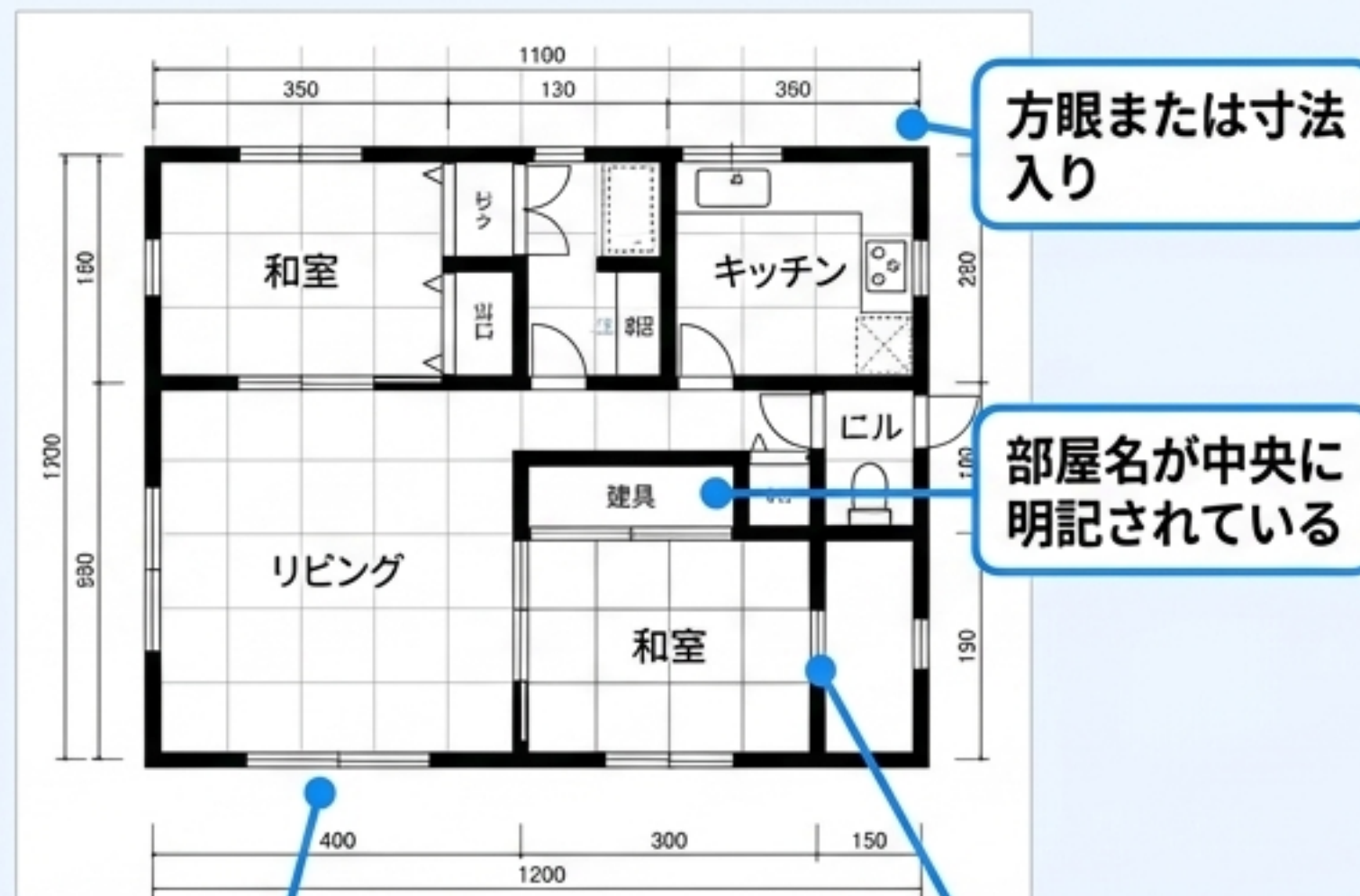


3つのスタート地点：アプローチの比較

アプローチ	適したケース	準備するもの	特徴
 手描きで作る	完全にゼロから思い通りの間取りを設計したい場合。	特になし	寸法や形状を最初から100%コントロール可能。
 図面ファイルから取り込む	既存物件の図面や、手描きのスケッチが手元にある場合。	画像、PDF、DXFファイル（寸法入り推奨）	AIが数分～十数分で自動トレース。実寸情報の読み取りに対応。
 文章から作成	アイデア出しや、大まかな要望から間取りのインスピレーションを得たい場合。	テキストプロンプト（要望）	部屋数や広さの条件を元に、AIがレイアウト案を一瞬で生成。

AI間取り図読み取り：Do's and Don'ts

Do - 読み取りやすい図面



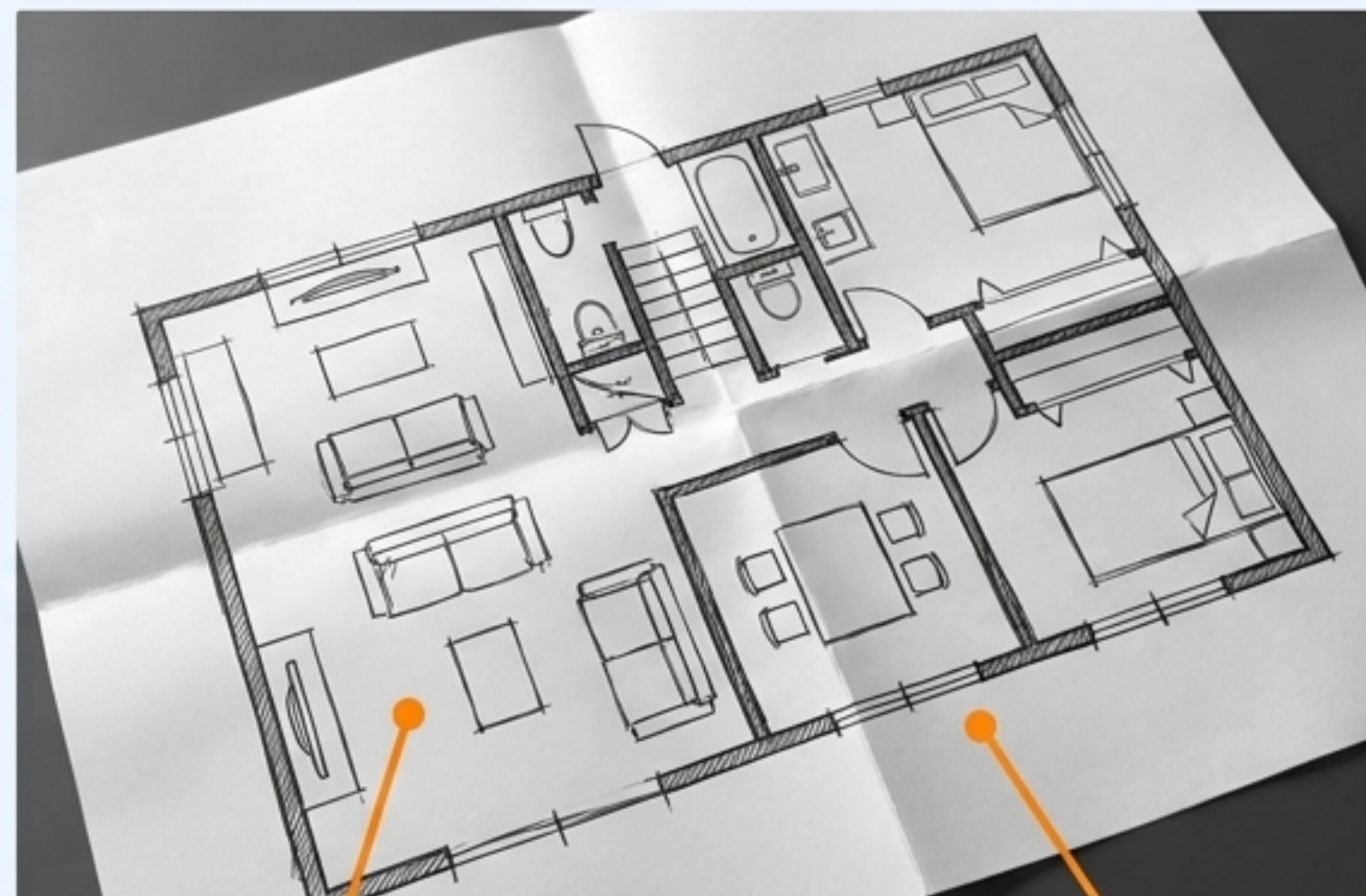
方眼または寸法入り

部屋名が中央に明記されている

方眼または寸法入り
(縮尺をAIが学習)

壁が黒く塗りつぶされ、
建具と区別されている

Don't - NGな図面



家具や設備が描き込まれて
いる (壁と誤認する原因)

斜めからの写真撮影や、
強い影・折り目がある

ワークフロー: [階・範囲の青枠指定] → [AI読み取り処理] → [実寸の確認と図面への反映]

AIによる間取り生成フロー

プロンプト入力

1階のみ、幅3640mm、奥行3640mmの
正方形のLDKと寝室を配置して。

AI 操作アシスタント

プロンプトによる編集指示も可能。
例：「選択した部屋の床を200mm下げて」

AI生成結果

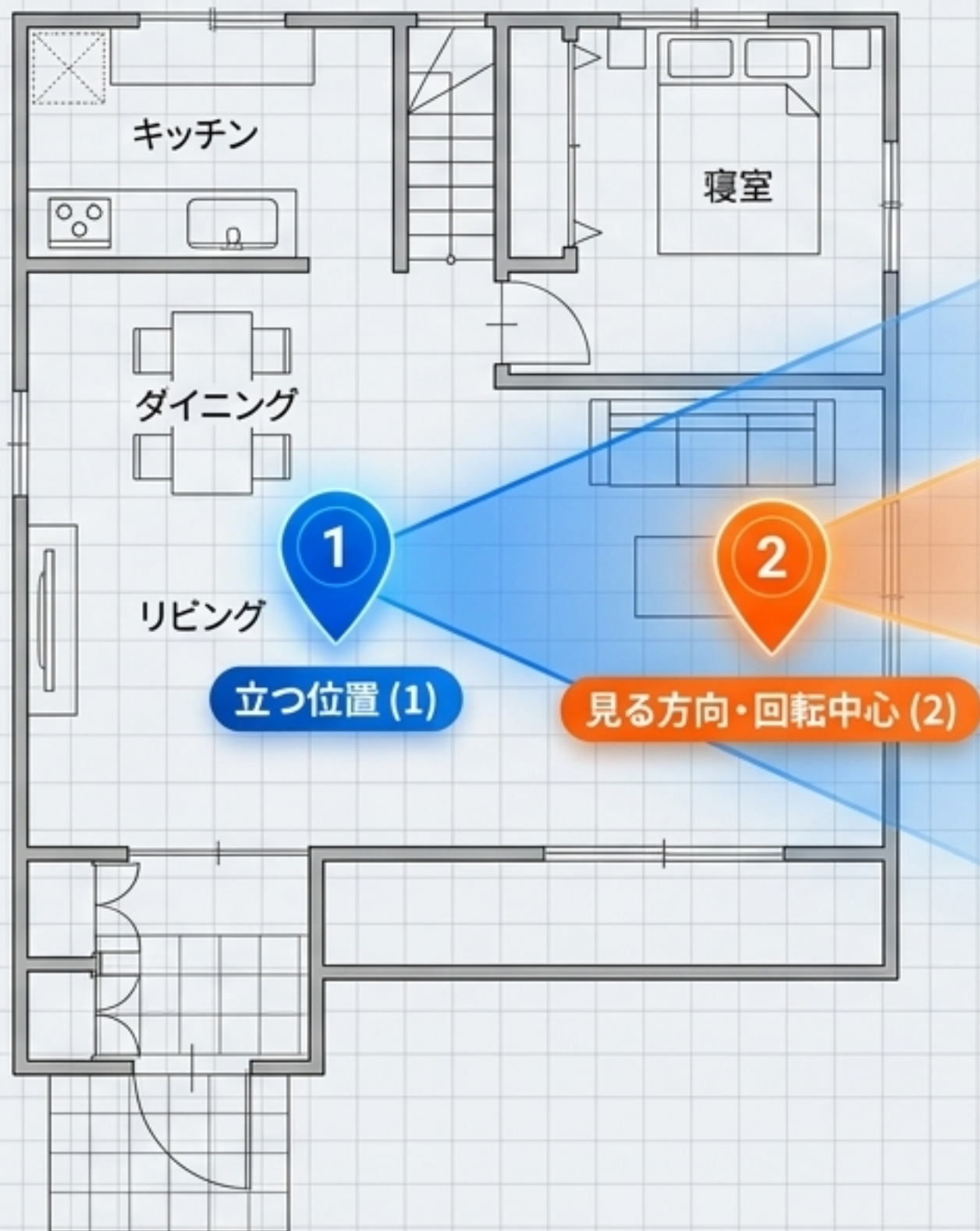


生成結果の選択

[現在の階を置き換える]

[現在の階に追加]

[別案として作成]



3Dパースの極意

- **外観を見る:** 青ピンを図面の外側に配置し、ズームアウトします。
- **全階表示:** 「全階の3D」トグルをオンにして、建物全体のプロポーションを確認します。

トラブルシューティング

症状	処方箋
AI結果が原図と違う	⇒ 実寸情報（グリッド・寸法）を確認し、原図から家具・設備の絵を消去してから再実行する。
処理が終わらない	⇒ 重複実行はNG。ステータスを確認し、処理が完了するまで待機する。
画面表示がおかしい・図面を見失った	⇒ 上部メニューから「表示 → 全体表示」を選択し、画角をリセットする。
3D画像として保存・共有したい	⇒ 「3D/AR プレビュー」で構図を決定後、「マイページに保存」を選択する。 （平面図保存とは別機能）

すべての空間設計は、
最初の四角形から始まります。
まずは「1つの部屋」を作ってみましょう。